

《1年の締めくくり・新たな1年に向けて》

数日前の朝、鶯の初鳴きで目が覚めました。庭に出るとオオイヌノフグリがかわいらしい青花を咲かせていました。春の到来が感じられ、嬉しい気分になりました。いよいよ3月です。昨日3日（火）に6年生を送る会を行いました。今年は5年生が中心になって、企画、運営に取り組みました。取り組む様子を見ていると、最高学年になる準備が着々と進んでいるように感じられます。全校児童が体育館に集まるのが難しいため、交替しながら体育館にいる6年生にメッセージやプレゼントを届けました。在校生は6年生に楽しんでもらおうと、様々な工夫を凝らして、プレゼントづくりや出し物の準備に取り組みました。和やかで素敵な時間を過ごせました。最後のひと月、よかったことはしっかり残し、うまくいかなかったことはみんなの力を合わせて解決し、いい学年の締めくくりをして、新しい学年を迎えてほしいと願っています。



【♪どんな言葉ができるかな?♪】

《学びのつながりを大切に》

3学期はこれまでの学びのまとめと、次の学年の準備としての色合いが強くなります。6年生では、毎年、ゆりのき台中学校の先生が来てくださり、中学校の授業を体験させてくださったり、中学校生活のスタートに向けたオリエンテーションをしてくださったりしています。今年度も6年生全クラス、英語の授業に来ていただきました。モニターをうまく使いながら、楽しく授業を進めてくださり、中学校の学習が楽しみになった子もいたようです。また、1月の公開授業研究会にはゆりのき台中学校を始め市内中学校、三田西陵高校、三田祥雲館高校からも先生方が来てくださり、小学校の授業の進め方や子どもたちの学びの様子を参観していただきました。それぞれの校種で、今後の授業の参考になることがあったそうです。



【中学校の英語授業とは・・・】

先日は今後の教育行政に生かすため、授業や学びの具体を知ろうと、市の教育委員会から10名をこえる方が来校され、図工展や授業の参観、職員との懇談をされました。そこで子どもたちの学びの様子とそれに携わる職員の姿について、高い評価をいただくことができました。

このように、学びとはそれぞれの時間や学校種単独のものではなく、子どもたちの成長に合わせて、連綿とつながっていくものです。生涯教育という言葉がありますが、子どもたちの10年後、20年後を見据え、学校種を超えて学びの縦のつながりを考えること、学校、家庭、地域など、多様な学びの場を活用し、学びの横の広がり、つながりを考えることが大切です。これからも、いろいろなところと連携しながら、ビーミーっ子の健やかな育ちと確かな学びに向けた取り組みを進めていきたいと思います。

《楽しみな姿》

○先日、5年生がインターネットラジオのハニーFMの事前収録に臨みました。5年生の思い出や来年に向けての抱負を尋ねられ、しっかりと答えていました。「調理実習で学んだことを使って、家族の好きな味噌汁を作りたいです。」「新学期になったら、1年生をはじめとした、低学年の子としっかり関わっていける6年生になりたいです。」など、頼もしい言葉が次々と出てきました。学校の代表としてのバトンを受け継ぐ意欲満々で、聞いているこちらもし嬉しくなりました。ラジオで流れると、「ゆりのき台小学校の上級生」として理解されます。「教室に戻って、みんなで一緒に頑張れるよう、声かけしてね」というと、「はい!」と元気な返事が聞こえました。昨年度から今の6年生を見ながら、5年生は刺激を受けてきました。そのためか、今年度の4月当初から、「6年生みたいになりたい」という気持ちを発表していました。今から新学期がとても楽しみです。

○体育科の授業で、5年生が持久走に取り組んでいます。クラスで力を合わせて、どこまで走れるかを目標に取り組みを始めました。すると、休み時間や放課後に友達と誘い合って、運動場周りを走る5年生が続出しました。4年生は毎朝、ピロティで縄跳びをしています。二重跳びやあや跳びなど、友達と楽しみながら取り組んでいます。児童登校前には、運動場に白線が引かれ、カラーコーンや得点板、ゴールなどが出され、いつでも体育ができるように整えられています。これも、楽しく体育に取り組む環境整備の一つです。体育の授業や放課後の習い事だけでなく、休み時間や自由時間にも運動に親しむ子が増えますように。